



神奈川県

畜産技術センター



かながわの畜産を支える技術開発と普及



試験研究

県民に高品質な畜産物を安定的に提供するとともに、都市と調和した畜産業を推進する試験研究を行っています



スマート技術を取り入れた浄化槽のばっ気制御技術の開発



未経産牛のOPUによる牛群改良方法の開発



微生物脱臭により臭気発生を抑える畜舎の実証研究



畜産経営における温室効果ガス削減方法の検討



夏季の家畜の暑熱ストレスを低減するための技術開発



国産濃厚飼料増産のための子実トウモロコシの生産方法の検討

普及指導

畜産農家に対する技術支援を軸とした高度技術の普及指導、畜産の担い手の育成・確保を行っています



就農5年目までの担い手を対象とした農業セミナー



哺乳ロボットで哺乳した子牛の発育調査



飼料用イネ専用品種の生育調査

畜産経営から発生する臭気を低減するための取組

～環境制御型養豚施設の実証試験～

都市近郊型の本県の畜産経営は、農場と住宅が隣接することから、悪臭に関する苦情の割合が多く、過去の調査では原因の約8割が悪臭に関するものとなっています。そのため、悪臭等の環境問題に対応するための先進的技術として、微生物脱臭システムを備えた環境制御型養豚施設を整備して、実証試験を実施しています。

脱臭装置により、豚舎の外では豚の臭気が感じられないくらいまで脱臭されることがわかりました。

一方、ドイツのシステムを導入したため、神奈川県の高湿多湿な環境では、豚の生産性が低下したことから、夏季の暑熱対策に取り組んでいます。



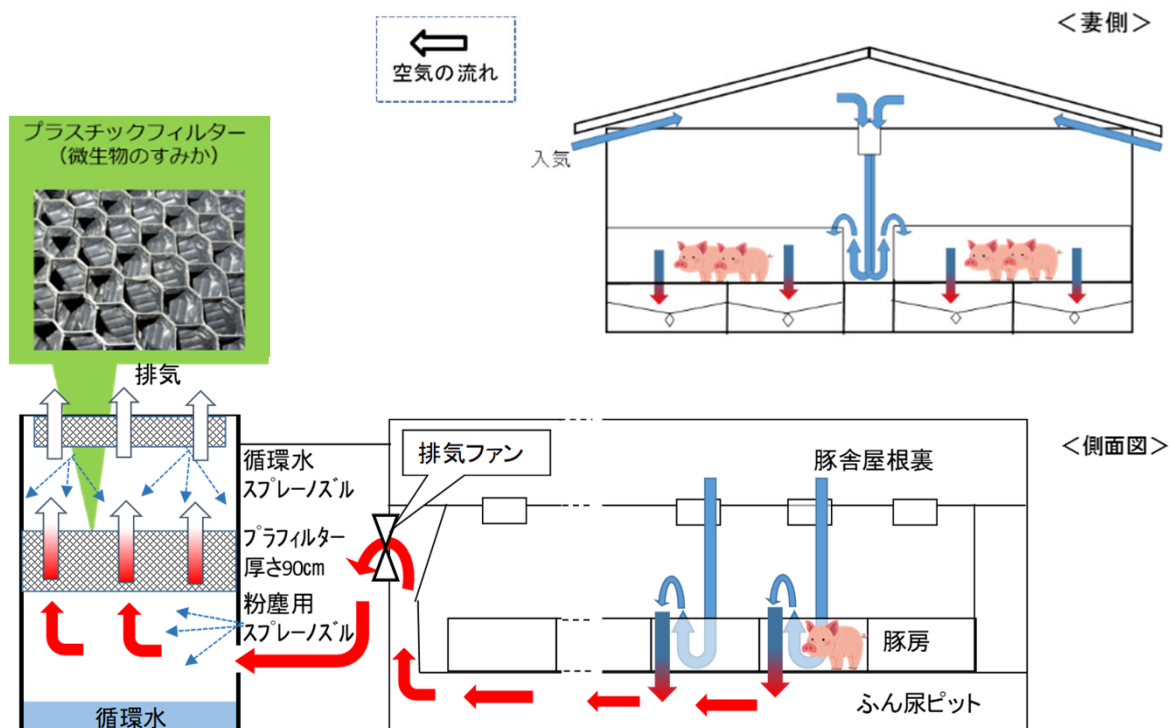
豚舎の外観



豚舎（奥）と脱臭装置（手前）

● 「豚にやさしい空調システム」

- ・ 糞尿ピット内の汚れた空気を排気ファンで豚舎外へ排気することで、豚房には常に新鮮な空気が供給される。
- ・ 外気は、豚舎中央通路から豚房に入り、豚に直接当たらない。
- ・ 温度センサーで排気ファンをインバータ制御し舎内環境をコントロールする。



● 「新しい微生物脱臭システム」

- ・ 糞尿ピット内の空気は、排気ファンで引抜いて脱臭装置に送られる。
- ・ 脱臭装置に送られた空気は、スプレー水で粉塵を除去されてから、ハニカム構造のガラスフィルターに接触し、フィルター表面に定着した微生物の働きで脱臭され、装置上部から排気される。
- ・ 循環水は、汚れを監視し、一部を浄化槽に排出、減った分は加水する。